

## 八代家で夏のつどい

去る8月21日(日) 重要文化財八代家住宅で、夏休みに親子で楽しめるイベントとして「八代家で夏のつどい」を開催しました。

あずきほうとう作り体験をやり、ほうとうが煮えるのを待っている間に、八代家を見学したり、ちょっと怖い話や手品を見たりしました。

なぜ、夏の暑い時期にほうとう?と思う人もいると思います。みそで煮込んだほうとうは日常たべられるものですが、これに対して、農繁期の労をねぎらって出されるごちそうの一つに小豆の汁で煮込んだ小豆ほうとうがあります。お赤飯にも用いられるように、小豆は五穀の中でも赤い色をもつ唯一のもので、おめでたい色、また、邪気をはらい厄除けの力を持つものと考えられていました。そんなことも、参加者の皆さんに知っていただくために、小豆ほうとうにちなんだ話を聞きながらいただきました。はじめて食べる方も多く、「想像していたよりもおいしい。」と言って召し上がっていました。

その後、方言かるたの読み句を使って、甲州弁の勉強をし、盛りだくさんな会になったと思います。

ケンタッキー州マディソン郡  
訪問団歓迎会に出演

～～こども神楽に出演依頼～～



北杜市の姉妹都市、ケンタッキー州マディソン郡ベリア市の訪問団を歓迎する会が10月12日、スパティオ小淵沢で開かれ、アトラクションとして当法人のこども神楽に出演の依頼がありました。

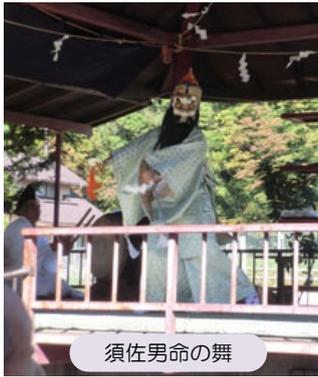


過去にかやぶんかわら版でも紹介しました、堀内涼汰君<sup>ほりうちりょうた</sup>。外国の人に日本の文化を伝えたくてお神楽を始めたという彼の夢を叶える絶好のチャンスだと思いました。せっかく外国の方たちに見ていただくので生の楽<sup>がく</sup>の方が良いだろうと、三嶋神社神楽保存会の方たちに楽をお願いしました。面を付けて舞っている時は楽の方々のような年配の男性が舞っていると思っていた皆さん。面を取ると中学生の少年だったのでびっくりしていました。本人の希望で、英語で感想をスピーチしました。その後一緒に記念撮影をしたい人たちに囲まれ、ひっぱりだこの涼汰君でした。



## ＝小田川 柳原神社

### こども神楽奉納＝



10月16日（日）に、葦崎市小田川の柳原神社（通称金毘羅さん）の秋祭りに、今年もこども神楽の奉納をさせていただきました。

今年は、12日に小淵沢で舞ってくれた堀内涼汰君とベテランの高木那鶴さんたかき なつにお願ねがいしました。堀内君は「須佐男命すさのおのみことの舞」を、高木さんは「天宇受売命あまのうずめのみことの舞」を、二人ともベテランらしく堂々と舞ってくれました。



## ＝第2回伝統芸能研修会＝



当法人が事務局を務めます、明野町民俗芸能保存会による伝統芸能研修会「明野のお神楽」が開かれました。今年で2回めになります。各団体とも昨年とは違う舞を担当し、今年は「金山毘古かなやまひこの舞（かじや）」と「鯛釣りの舞」が新しく披露されました。沢山の方たちが見に来て下さいました。



## ＝緊急雇用創出事業 後半スタート＝

平成23年度遺跡出土品整理作業も半年が過ぎ、後半がスタートしました。4月から継続して作業している方と10月から新規に採用になった方に感想を聞いてみました。

土器に触れて縄文の人々の暮らしを想像するのはとても楽しい。丸い枝で引いた沈線、鋭利なもので突いた穴、縄目を転がした文様。まるで、気ままな模様や用途を示す印のよう。それらを拓本として画仙紙に写し、真弧を使って断面図を描く。震災や原子力発電所の事故を経て、人の生活する場や現代の便利な暮らしを縄文土器を通じて見直してみたり、現代人が失った何ものかを垣間見てみたいと思う。

4月採用 男性

私は拓本という土器の破片の模様を墨で紙に写し取る作業を担当しています。一見、同じように見える土器も、一つ一つ手にとってみると、文様がとても繊細で、丁寧に作られていることに驚かされます。10月末からの勤務で、まだまだご指導いただきながらの毎日ですが、どんな用途で使われていた土器なのか、縄文時代に思いを馳せながら、大変興味深く作業をさせていただいております。

10月採用 女性

## ＝会員募集＝

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に  
あなたの力をかしてください～

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 2,000円

### かやぶんかわら版 第72号

平成23年11月15日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所  
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-20-2051

ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>

e-mail [kayabun@hotmail.co.jp](mailto:kayabun@hotmail.co.jp)